

弁天歴史公園

弁天町38 ☎ 0133-62-4611

▼楽山居(らくざんきょ)

明治3年に開拓使の命を受けて開業した旧石狩病院。ここは“離れ”として昭和12年に建てられた和室で、当時、院長だった鈴木信三氏が俳句結社「尚古社(しょうこしゃ)」の最後の社主でもあったことから、句会に活用されたこともありました。



▲水を落とせばコロコロと涼しげな音がする、話題の水琴窟(すいきんくつ)。



1,700個もの石が並べられた大きな石置き屋根や、下見板張りの壁が特徴です。

▲江戸時代、アイヌの人々と和人との交易や宿所として利用されていた運上屋(うんじょうや)をモチーフに造られた施設。



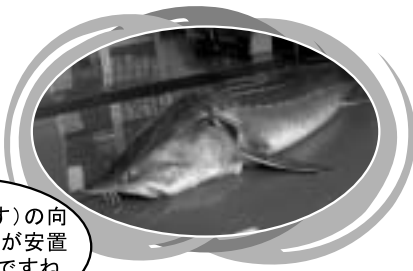
◀公園管理棟「運上屋」にある(社)石狩観光協会で、観光案内のパンフレットや地図など入手ができます。「自然や歴史、建物など、いろいろ尋ねてください」と観光協会の榎谷さん(写真右)。

◀レリーフ「先人たちの碑」の前でボランティアガイドの岩宮澄子さん(中央)と。「子どものころに父親と石狩川に遊びに来て、渡船に乗せてもらったことが思い出となって…。平成7年に石狩市に移り住んでから、まちのことをもっと知りたくて、ガイド活動に参加しました」。

石狩弁天社

弁天町18 ☎ 0133-62-4611(石狩観光協会)

★見学ご希望の方は(社)石狩観光協会へご連絡ください。



◀石狩川にサケが何十万匹とそ上していたころ、大きなチョウザメも川を上っていたそうです。鮫様の神事の始まりは、サケ漁に使う網がチョウザメに何度も荒らされていたことから、石狩川の河畔に祠(ほくら)を建てて、祭ったことが由来。



この御簾(みす)の向こうに弁天様が安置されているんですね



▲漁業の神様・弁財天、稲荷大明神(右)と、石狩川の主といわれるチョウザメを神格化した妙亀法鮫大明神(左)。台座は亀と鮫をかたどったもの。※写真は印刷物からの転写です。

江戸後期の、石狩場所関係者の奉納品といわれ、縦約1.8m、横約1.4mもあります。



▲「関羽正装図」描いたのは谷文晁の門下生・井上文昌。

◀参詣者がひもを振って打ち鳴らす「鱧口(わにぐち)」。サイズは道内最大級、予想を超えた音にビックリ!



思ったより大きな音がするんですね!

越後盆踊り

踊り手大募集!



越後盆踊りは、石狩川のサケ・マス漁を目的に新潟県から渡ってきた人々によって広まりました。漁師町ならでの、華やかで郷愁的な踊りを次の世代へ伝えようと保存会も設立されています。あなたも参加してみませんか。



☎保存会事務局 栗谷さん ☎74-1978

本町地区

を歩いてみよう!!



①は飲食店。
詳細はP7を参照

はまなすの丘公園

日本海

無事の民彫刻家・本郷新の作品。

法性寺
安政6(1859)年に「善光寺休泊所」として創立されました。浄土宗。

展望台

石狩灯台
明治25(1892)年1月1日初点灯。道内で21番目の灯台。

石狩八幡神社
安政5(1858)年創立。9月15日に行われる例大祭では、大漁旗が勇壮な船渡御が見られる。

金龍寺
安政6(1859)年創立。日蓮宗。北前船で運ばれた市内最古の手水鉢あり。

石狩尚古社
P.6参照

長野商店
明治27(1894)年建。市指定文化財。

いしがり砂丘の風資料館
4月にオープンし、市民参加型の資料館づくりが始まっている。

多目的広場

多目的広場

ナビゲーターは本間さん(写真手前)と紀伊国さん(写真奥)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

はまなすの丘公園

石狩灯台

石狩八幡神社

金龍寺

石狩尚古社

長野商店

いしがり砂丘の風資料館

多目的広場

多目的広場

ナビゲーターは本間さん(写真手前)と紀伊国さん(写真奥)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

はまなすの丘公園

石狩灯台

石狩八幡神社

金龍寺

石狩尚古社

長野商店

いしがり砂丘の風資料館

多目的広場

多目的広場

ナビゲーターは本間さん(写真手前)と紀伊国さん(写真奥)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

潮風香る本町地区。しかし、このまちの魅力は海だけではありません。石狩発祥の地としての歴史や文化、貴重な海浜植物などが今も市民に大切に守られています。そこで、風情ある景色や名所、見どころなど、さまざまな角度からまちを巡り、本町地区の豊かな表情をお届けします。

今年の夏は ひと味違う ふれあい散策を

いよいよ夏本番。あふれる太陽の下で思いっきり楽しむには、やっぱり泳ぐのが一番。本町地区には、道内でも屈指の海水浴場「あそびーち石狩」があります。ここ数年はあいにくの冷夏でしたが、例年では約50万人もの海水浴客が訪れ、浜はにぎわいを見せません。かつて100万尾を超すサケ漁に沸き返り、大いに栄えた本町地区には日本屈指の豪商が住んでいたことから、市の主な観光名所もここに集中しています。

そのため、土・日・祝日になると、市民による観光ボランティアガイドが弁天歴史公園管理棟「運上屋」に常駐し、見所を案内してくれます。今年

で4年目となるこの活動は、現在10人のガイドさんによって支えられ、昨年度は5〜10月のシーズン中に2000人の観光客を迎えました。

日々自主的な勉強会を繰り返しながら、ガイドさんたちもまた、新たな感動と出会いを心待ちにしています。

あそびーち石狩

海開き情報

期 7月3日(土)
~8月16日(月)

※7月3日は、駐車場、海の家休憩所は無料です。

7月3日の行事

安全祈願祭
10:30~

水難救助デモン
ストレーション

貝拾い
など

問 社団法人 石狩観光協会 TEL 0133-62-4611
E-mail unjyoyouya@muse.ocn.ne.jp URL http://www.ishikari-kankou.net/
商工労働観光課 TEL 0133-72-3167